

# 雲北陵月報

No. 466

令和6年6月29日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## 第62回島根県高等学校総合体育大会 第2回中学校出雲ブロック大会 出雲北陵生獅子奮迅の活躍!!

### 卓球部

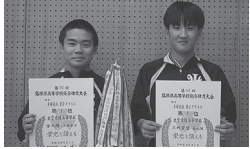
男子団体 14大会連続17回目の優勝!  
個人戦 シングルス・ダブルスを共に制す!

時 5月30〜6月1日  
於 出雲市総合体育館・平田体育館

〈男子団体〉優勝  
〈男子シングルス〉優勝  
優勝 小野泰和(35北)  
2位 黒田昌秀(35北)  
3位 肖 駿駿(23北)  
〈男子ダブルス〉  
優勝 三好蒼空(12北)・金丸 陽(12北)組  
2位 小野泰和・黒田昌秀組



シングルス優勝の小野泰和



ダブルス優勝の三好蒼空(右)・金丸陽

団体・シングルス・ダブルスの3種目完全制覇を果たすことができた。3月の全国選抜大会で優勝したことによって、今までに経験したことのないプレッシャーを感じながらの大会であったが、主将の小野を中心としたチームワークで幾度も難局を乗り越えることができた。また出場した選手だけでなく、ベッチャやスタンドから声を囁らして仲間を



叱咤激励し続けた仲間  
の力、遠路会場まで応援に駆けつけていただいた保護者の方々の力も選手にとって非常に心強いものであった。温かいご声援有難うございました。  
(顧問 古瀬泰之)

### 女子ソフトテニス部

時 5月30〜6月1日  
於 浜山公園テニスコート

〈団体戦〉初優勝  
メンバー(水永・岡本・川角・栗原・木村・森山・果瀬・高野)  
2回戦 2-10 三万屋  
3回戦 2-10 松江商業  
準決勝 2-10 松江西  
決勝 2-10 松江西  
〈個人戦〉  
優勝 4ペア インターハイ出場  
8ペア 中国大会出場  
優 木村香夏(33)・森山音羽(35)大  
2 川角莉子(35)・栗原奈々(25)大  
3 水永花音(35)・岡本涼香(35)大  
5 果瀬暖花(33)・高野愛未(24)大  
位 杉谷 皐(24)・曾田珠凜(13)大  
ベスト8 落合 遥(14)・森田早貴(14)大  
ベスト16

### 男子ソフトテニス部

時 5月30〜6月1日  
於 浜山公園テニスコート

〈団体戦〉3位  
メンバー(伊藤・岡田・川角・三上・河野・山下・高木・高橋)  
1回戦 3-10 松江西  
2回戦 2-10 松江農林  
準々決勝 1-10 江津工業  
準決勝 1-2 松江工業  
〈個人戦〉5ペア 中国大会出場  
ベスト16 川角光夢(22)・三上瑛大(15)大  
田邊航汰(31)・板垣優吾(34)大  
三島綾太(12)・高橋海璃(33)大  
高木映瑠(14)・岡田隆聖(21)大  
河野穂希(13)・金森剛士(13)大  
伊藤 快(34)・山下柊人(15)大  
ベスト32  
〇大会総評  
なかなか結果が出ず苦しんだ世代であったが、キャプテンを中心にしっかりとしたチームを作ってくれたと感じている。個人、団体共あと一歩というところで全国を逃し悔しい結果となったが、次の世代に大きなものを残してくれたことに感謝している。  
新チームはこの3年生の気持ちを大切に



北井綺羅(35)・佐藤 楓(33)大  
井上心々奈(13)・那須こほる(24)大  
〇大会総評  
個人・団体共に優勝することができ、多くのペアが上位大会の出場権を獲得した。インターハイ・中国大会でも新たな歴史が刻めるよう更に高めていきたい。応援サポートしてくださった皆様、本当にありがとうございました。  
(顧問 金森 快)



個人戦優勝の木村・森山ペア

### なぎなた部

時 6月1日  
於 本校 黎明館



にし、これからの大会に向け精進して欲しい。3日間多くの方々に会場まで応援に来ていただき有難うございました。また、後輩のために時間をとってくれたOBにもお礼申し上げます。  
(顧問 河野高幸)

〈女子個人試合〉  
優勝 寺本春葉(34)  
2位 安田結衣(14)  
〈男子個人試合 ※公開競技〉  
優勝 岡田一之介(14)  
2位 田淵光流(14)  
団体は本校、演技は安田・寺本チーム、女子個人2名が7月26日から大分県で行われるインターハイに出場

### 第30回中国高等学校なぎなた選手権大会

時 6月15日  
於 下関市立大学

〈演技競技の部〉  
優勝 安田結衣・寺本春葉 3連覇  
〈女子個人の部〉  
3位 寺本春葉  
3回戦敗退 安田結衣  
〈男子個人の部〉  
2回戦敗退 田淵光流、岡田一之介  
〇大会総評  
今大会は演技で優勝し、3連覇することができた。女子個人の部では寺本が3位。1年生3名は初めての県外大会であった。勢いのある試合展開で今後を期待させる内容であった。今大会の反省を生かし稽古に励みたいと思



(顧問 井上美代)

### 男子バスケットボール部

前期 時 5月24・25日  
於 県立浜山体育館  
後期 時 5月31〜6月1日  
於 県立浜山体育館

2回戦 本校 92-53 隠岐  
準々決勝 本校 87-57 松江高専  
準決勝 本校 58-66 松江西  
3位決定戦 本校 77-59 松江工業

#### ○大会総評

昨年、決勝戦を僅か1点差で落とした悔しさを胸に、優勝を目指して貪欲に挑んだ。準々決勝までは3年生を中心に危なげなく勝ち上がったが、準決勝の松江西戦では、流れに乗り切れず苦しい展開となった。後半2点差まで追い上げる場面もあったが、勝負どころでミスが続き悔しい敗戦となった。最終日は、3位決定戦を松江工業と戦い、前半は僅差で折り返したが、後半はリバウンドから走るバスケットで相手を突き放した。



インターハイ出場は叶わなかったが、全国の舞台で勝負するために課題を克服できるようなことから精進していきたい。当日は校長先生をはじめ、保護者、多くの方からご声援いただき有難うございました。(顧問 手島幹人)

### 女子バスケットボール部

時 5月24・25日  
於 県立浜山体育館

1回戦 本校 97-44 益田東  
2回戦 本校 85-69 明誠

準々決勝 本校 55-83 松江東  
ベスト8

#### ○大会総評

準々決勝の松江東戦では、前半硬さもあり、シュートが入らず苦しい展開となった。後半は一時3点差まで追い上げる場面もあったが、あと一步届かず悔しい敗戦となってしまった。しかし、随所に本校らしい3年生の意地が見られた試合であった。当日は保護者の皆様をはじめ多くの方からご声援いただき有難うございました。(顧問 篠原勝利)

### 陸上競技部

3名が中国大会出場権獲得(3年連続)  
時 5月24〜26日  
於 浜山

足立康佑(34種) 走高跳 4位  
片岡賢晴(32種) 棒高跳 6位  
河原栄太(36種) 3000m sc 6位

#### ○大会総評

春の大会で安定した記録を残した3名が中国大会の出場権を勝ち取った。3年生は集大成として思いを込めて3日間を駆け抜けた。今年の3年生は、1年次から日々前向きな姿勢で本当に良く練習をした。トラック陣はグラウンド、校周を何周も走り、跳躍陣はこの3年間でマットがポロポロになるまで跳び込んだ。棒高跳のボックスは手作りりで、ボールの突き刺し練習で穴が開いたほどだ。思った順位、記録に届かなかった選手もいたがそれ以上に部活動で頑張ることの素晴らしさを残してくれたように思う。

1年生で決勝に残った選手もいるので、3年生が作ってくれたこの流れを切らないように今後も頑張っていきたい。保護者の方々にはたくさんの方が声をかけていただき感謝しています。本当に有難うございました。

### 第77回中国高校陸上競技大会

時 6月14〜16日  
於 鳥取

片岡賢晴 棒高跳 出場  
足立康佑 走高跳 出場  
河原栄太 3000m sc 出場

#### ○大会総評

入賞には届かなかった。高いレベルの試合を経験したことを糧に、来年度は一つでも上へ前進していけるよう頑張りたい。(顧問 別所美喜子)

### テニス部

時 5月30〜6月1日  
於 松江総合運動公園テニスコート

初戦敗退 小松原大地(24種)  
(男子シングルス)  
ベスト16 長子七海(31種)  
(男子ダブルス)  
初戦敗退 小松原・錦織(23種)

#### ○大会総評

女子シングルスでは、3年間ひたむきに努力を重ねた成果を試合を通して後輩達に示してくれた。島根県内のジュニアランキングで17位の成績を残している状況からも努力が伝わってくる。

男子はまずは基礎技術の向上に努め、その上で「勝つ」ために必要なことを考えながら行う練習を増やしたい。一所懸命に取り組むだけでは勝てないということとを理解する必要があるだろう。

今後も、男女共に自分で課題を見つけ、先輩よりも上に行くという気持ちを持って練習して欲しい。会場まで応援に来ていただいた保護者の皆様、有難うございました。(顧問 石川剛巨)

### サッカー部

時 5月24日  
於 松江商業高校

1回戦 本校 0-5 出雲工業  
(前半0-3 後半0-2)

#### ○大会総評

前半から出雲工業の猛攻を受け、自分達が思うようにボールが持てず、守備ばかりの苦しい時間が続いた。それでも部員達は一点を奪いに行こうと、集中を切らずにとなく、我慢しながらプレーしてくれた。3年生を中心に最後の最後まで声を出し、チームとして戦う姿を見ることができたのは非常に良かった。練習でも試合と同じぐらいの緊張感を持って取り組み、それぞれの基準を上げて欲しい。そして3年生最後の試合である選手権では少しでも良い結果が出せるよう共に頑張りたい。(顧問 今川恵人)



### 野球部

鳥根県地区高等学校野球大会  
時 5月25日  
於 浜山公園野球場

1回戦 本校 1-9 飯南(7回コールド)

#### ○大会総評

今年度は大会で思うような結果が出ていない中、選手権大会に向けた最終チェックとなる地区大会に臨んだ。本校は主当番校であり、早朝から遅くまでの当番校業務が重なりとても大変な中、選手達は懸命に試合に取り組んだ。残念な結果に終わったが、運営側の大変さや今後の課題を認識でき、選手権大会へ繋がる大会となった。当日は多数のご声援、有難うございました。選手権大会も応援の程よろしくお願致します。(顧問 畑 宗一郎)



### 写真部

#### 「写真甲子園2024」中国ブロック審査会

第31回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2024」中国ブロック審査会が6月8日にリモートで行われ、本校から山本海志(31歳)、山岡菜々(33歳)、馬庭葵琳(24歳)の3名が選手として出場した。残念ながら二連覇はならなかったが審査員の鋭い質問にしっかり対応し、選手達の確かな成長を感じた。

3年生の挑戦はここで終わるが、意志と想いは次の世代に託された。全力を尽くして挑戦してくれた選手達に心から敬意を表したい。(顧問 村上 学)

#### 令和6度高文連春季写真コンクール 特選16点、入選23点!

時 6月12日  
於 島根県民会館

本校からは31人が155点出品し、16点が特選に入賞した。特選は次の通り。

- 「ふー」 天野莉瑠(13歳)
- 「映る笑顔」 西出みき(13歳)
- 「失落」 山本海志
- 「変わらないもの」 福島 和(33歳)
- 「小休止」 本田 陽(21歳)
- 「優雅」 松村菜生(23歳)
- 「堕ちる」 山岡菜々
- 「明日へ」 馬庭葵琳
- 「しのお」 馬庭葵琳
- 「野望」 馬庭葵琳
- 「ころ」 原 昊夢(24歳)
- 「シンメトリーロード」 高根莉子(13歳)
- 「記憶の続き」 渡部麻華(25歳)
- 「追憶をたどる」 渡部麻華(25歳)
- 「傍観者」 山崎凜桜(25歳)
- 朝枝佳乃(36歳)

(顧問 村上 学)

### 合唱部

#### 第63回島根県合唱祭

時 6月9日  
於 島根県民会館

コロナ禍があけて2回目となる合唱祭で、コロナ禍以前の活気が戻ってきた合唱祭であった。本校合唱部は、NHKの課題曲「明日のノート」と全日本の課題曲「七里浜」の2曲を演奏した。早朝からの練習であったり、本番ステージを迎えるまで1時間半座席に座って鑑賞したりと、コンディション的には決してベストではなかったが、これもひとつの勉強と捉えて本番ステージを迎えた。本番では、日頃の練習の成果を発揮することができ、ホール一杯に北陵サウンドを響かせた。他団体の演奏も聞くこともできない刺激を受ける機会となった。更にコンクールに向けて、演奏の質の向上を図っていききたい。(顧問 布野浩志)



### 吹奏楽部

#### 出雲市市制施行20周年記念 復興祈念コンサート

時 5月19日  
於 出雲市市民会館大ホール

標記コンサートに出演させていただいた。本校の他に、ミュージカル「愛と地球と競走人」、陸上自衛隊第13音楽隊、在日米軍陸軍音楽隊の皆様も出演され、2時間30分を超えるコンサートとなった。本校は、吹奏楽コンクール課題曲など4曲を披露し、会場からは大きな拍手をいただいた。コンクールに向けて課題は山積しているが、一歩一歩進んでいききたい。



### 出雲地区吹奏楽祭

時 6月1日  
於 出雲市市民会館大ホール

【演奏曲目】  
・レ・ミゼラブル (C.M.シエーンベルク)  
・じよいふる (水野良樹)  
・Y.M.C.A.  
(H.ペロロ&V.ウィリーズ)  
出雲地区の吹奏楽部が集う吹奏楽祭が開催された。いずれの学校も新メンバーとなり、コンクールへ向け熱演を披露した。

本校は、全出場団体で唯一となるステージドリルを披露した。短い練習期間ではあったが、部員達は観客の皆様楽しんでもらえるよう工夫を凝らし、精一杯の演奏演技を行った。吹奏楽祭という名に相応しく、会場は大いに盛り上がり、ただただようで、演奏後には大きな拍手をいただいた。

### 島根県立大学出雲キャンパス学園つわぶき祭

時 6月9日  
於 島根県立大学出雲キャンパス

標記イベントに出演させていただいた。学生のみならず多くの地域の方が参加されており、盛り上がりがあった。今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していききたい。(顧問 竹内康貴)



### 美術部

#### 高文連出雲地区美術講習会・コンクール

時 5月29日~31日  
於 国立三瓶青少年交流の家周辺

出雲地区各校の美術部員が参加し、3日間に渡って国立三瓶青少年交流の家周辺を風景写生した。本校は1・2年生22名



が参加し、新緑の三瓶山で伸び伸びと油彩・水彩の絵画制作を行うことができた。最終日には優秀作品が選ばれ、本校からも2年生の5点が選出された。

### 第71回全国高校トップ競技大会島根県予選

時 6月11日  
於 情報科学高校

今年度は2年生の研修旅行と日程が重なり、3年生2名の個人戦での出場となった。結果、入賞することはできなかったが、個々にベストを尽くすことができた最後の大会となった。(顧問 永瀬貴之)



### インターアクトクラブ

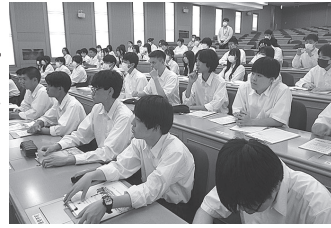
時 6月9日  
於 宍道湖周辺(湖遊館)

中海と宍道湖が平成17年に「ラムサール条約」に登録されて以来、毎年実施されている中海・宍道湖一斉清掃に参加した。出雲市では、宍道湖畔の斐川会場(出雲空港周辺)と平田会場(湖遊館周辺)に分かれ、インターアクトクラブの生徒3名は平田会場で活動した。午前8時、平田湖遊館駐車場に出雲市役所職員や企業、近隣の家庭からの参加者約250人が集結した。宍道湖と斐伊川の合流点から、湖岸沿いにゴミ袋と火付バサミを持ち、1時間ほどの清掃作業をした。ペットボトルやスナック菓子の袋、発砲スチロールなど多くのゴミを拾うことができた。(顧問 尾添喜行)



# キャリア教育関西研修旅行

時 6月11～13日  
於 関西各地(大阪・兵庫・奈良)



2泊3日の日程で、高校2年生のキャリア教育関西研修旅行を実施した。

今回は地元企業の一畑トラベルサービス様の協力で企画・運営を行い、系列・コース別により進路を意識できるよう進路を意図的に「学食」体験してもらい、大学生生活の一端を感じてもらった。

研修プログラム①「入と防災未来センター」見学  
奇数クラスと偶数クラスに分かれて、施設見学と震災経験のある語り部の方から講話をしていただいた。今年一月の能登半島震災でも多くの被災者が出たことは記憶に新しいが、30年近く前にもなる阪神淡路大震災の甚大な被害、復興した現在の神戸市、防災に対する心構えをお話いただいた。

研修プログラム②「イブニングセミナー」  
小学生から高校生まで多岐町で過ごされ、大阪で書道家、つまみ絵作家として活躍しておられる楠本和美様を講師としてお招きし、「感動からプロの道へ」と題して、書と手芸の師範になったいきさつや、「やりたいことをとことんやる気持ち」を大切に「お話しください」



## 研修プログラム③「上級学校・企業施設訪問」

系列・コース別に、大学・短大・専門学校、企業・施設の訪問をした。特に保育系、看護医療系では訪問先で必ず「体験実習」を入れていただいた。生徒達にとっては希望進路に直結した見学であったと思う。

この研修を通じて学んだこと、気づいたことを、希望進路の実現につなげてくれることを大いに期待したい。  
(2年主任 尾添喜行)



## 高校1年生 人権教育HR実施

5月27日(月)、1年生を対象に、HRの時間に人権教育を実施した。誰もが充実した学校生活を送るために「をテーマに、一人ひとりの思いを知り、誰もが努力し、力が発揮できる学級・学校にする」という指導目標のもと、各クラス担任がクラスという身近な存在から、よりよく有意義に生きることに考えて考えるHR授業を行った。

一年生の中には、未だ不安と緊張の中で過ごしている生徒もいるが、今回の授業を通して、互いに助け合うことの大切さなど、他者との共存という視点で相手を考えてやる気持ちを深めることができたと感じる。  
生徒の皆さんには、今後更に人権に対する意識を高めて欲しい。

## 令和6年度出雲市スポーツ協会表彰

時 5月21日  
於 ラピタウエディングパレス



去る5月21日、ラピタウエディングパレスにて令和6年度出雲市スポーツ協会表彰式が行われ、高校卓球部がスポーツ優秀賞を受賞した。

## 高校PTA役員

5月21日、本校でPTA総会が催され、今年度の新役員は次の方々に決まりました。

- 会長 塩野 稔昭 様(36)
- 副会長 石原 数子 様(25)
- 副会長 永田 稔功 様(11)
- 監事 福田 康平 様(31)
- 監事 石賀 裕二 様(22)
- 監事 遠藤 正博 様(14)

## 中学校

### 第2回島根県中学校出雲ブロック大会結果

#### 卓球部

時 6月4・5日  
於 出雲市総合体育館  
優勝(リーグ戦) 7勝0敗

- 【男子団体】優勝(リーグ戦) 7勝0敗
- 【男子個人】
- 優勝 波多間怜偉(中3)
- 2位 小林麟太郎(中2)
- 3位 松崎優樹(中3)
- ベスト8 中司良心(中1)、住田光亮(中1)
- 真庭星那(中1)

9位 川角 岳(中1)

○大会総評  
夏の大会に向け、実力向上を図ってきたい。  
(顧問 相場翔太)

#### 野球部

時 6月4・5・6日  
於 浜山球場・浜山少年球場

1回戦 本校 1-15 出雲三  
○大会総評  
初めに先制点を奪えず相手に流れを渡してしまった。その結果、序盤から大量失点を許してしまい敗れた。  
3年生部員がおらず、若いチームでの戦いであったが、最終的に優勝したチームから1点を取ったことには自信を持って欲しい。この悔しさと経験を糧に成長してもらいたい。たくさんの応援有難うございました。  
(顧問 酒井甲太郎)

#### 男子バスケットボール部

時 6月4・5日  
於 斐川西中学校体育館

〈予選リーグ〉  
1試合目 本校 78-41 斐川西  
2試合目 本校 102-46 BLAZE BULLS  
予選リーグ(2勝) 1位  
決勝戦 本校 62-48 出雲二  
優勝(17年ぶり) 県総体出場決定  
○大会総評



二日目の決勝戦ではなかなか自分達のプレーができなかったが、ディフェンスで粘り、なんとか勝つことができました。もう一度チームとしてやるべきことを徹底し、県総体では中国大会出場を目指して頑張りたい。ご声援有難うございました。  
(顧問 多々納厚比古)



### 女子バスケットボール部

時 6月4・5日  
於 出雲北陵中学・高等学校  
斐川西中学校

〔予選リーグ〕  
1試合目 本校 77-59 平田  
2試合目 本校 46-87 向陽  
予選リーグ3位(得失点差による)



○大会総評  
目標にしていた県総体出場を果たすことができず悔しい結果となった。改めてチーム作りや日々の練習に力を入れ、来年リベンジしたい。ご声援有難うございました。  
(顧問 和田拓真)

### 第2回合同道徳

時 5月27日  
於 北陵ホール  
講師 菅田修司副校長

今回は、「自分を大切にすること」をテーマに、「星野富弘さんの言葉」や「武者小路実篤の言葉」を例に挙げて話された。  
また、推理小説『アトボス』、PCゲーム『リトルバスターズ!』、漫画『たまごのきみ』などの例も生徒の心に響いたように、それぞれが自身と向き合うきっかけをいただいた時間となった。

#### 〔生徒の感想〕

僕は初めての合同道徳で、一番印象に残ったのは「もがくことはカッコ悪くない。むしろカッコいい。」という言葉でした。以前、副校長先生が先輩方にも同じように話された時、ある生徒が感想文に「もがくことはカッコ悪くない。むしろカッコいい。」と書いてくれていたそうです。僕は、勉強にしても、部活動にしても、今より上を目指すということは悩んでい

てももがいているからです。上を目指すという事は、昨日の自分を少しでも超えて強くなるということです。更に、副校長先生が話された「自分は自分の応援団長」という言葉もとても気に入りました。頑張りたい時、集中したい時にこの言葉を思い浮かべて、自分を応援したいと思えました。  
(隈元慶真(前南))

### 第2回校外講師特別講座(座禅と講話)

時 5月24日  
於 一畑寺

今年度も歴史と由緒ある一畑寺を訪問し、管長の飯塚大幸様のお世話による座禅と講話の会を実施した。  
非現実の静寂に身を置き、警策の音が響く中、自己と向き合う貴重な時間を持つことができた。



### 出雲科学館理科学習(中学2年)

時 5月29日  
於 出雲科学館



中学2年生を対象とした今年度第1回の出雲科学館理科学習が「物質どうしの化学変化」のテーマで実施され、19名が受講した。

まずサイエンスホールにおいて、水素と酸素の混合気体を100mlのホース内で爆発させ、音と光を発生しながら水が発生する実験、ダイヤモンドを燃焼させて二酸化炭素が発生する実験などをアニメーションなども交えながら説明していただいた。

次に実験室に移動し、班ごとにマグネシウムの燃焼実験を行った。生徒達は協力し合い、積極的に実験に取り組み、実力ある理科学習になった。

### 生活安全教室開催

時 5月20日  
於 北陵ホール



出雲警察署生活安全課 少年補導員の北浦章世様に講師としてご来校いただき、ワークシートやDVDを用いてインターネットに潜む危険性などについて講義をいただいた。情報通信端末が身近にある現代において、生徒自身が正しい知識や判断力を身につけ、自分自身を守る術を覚えていく必要がある。そうしたことを改めて確認できた有意義な教室となった。

### 第1回合同礼法

時 6月12日  
於 北陵ホール



中学生全校生徒を対象に、礼法主任である井上美代先生を講師として、今年度第一回目となる合同礼法を開催した。まず、本年度は水谷学園創立115周年であることを踏まえ、創立者、創立記念日、校訓について生徒に質問しながら確認された。校訓「柔しく」は「他人の立場に立つて行動すること」であり、「剛く」は「自分に厳しく行動すること」とあることを改めて学んだ。次に「礼儀」と「作法」について、「礼儀」は相手を大切にすることを指し、「作法」はそれを相手に示す動作・行動の部分であること、それをつなげたものが礼法であり、校訓と通ずるものであることを学んだ。その後、「気をつけ」、「礼の姿勢」や「制服のたたみ方」についての指導を受けた。最後に、自分のいいところを伸ばすには、悪いところを改善しないと人として伸びないこと、周りの人からも応援してもらえないとしくくくられ

普段の学校生活や家庭生活について改めて反省し、改善しなければいけないことを振り返る時間となった。  
自ら考えて行動することは一朝一夕には身につかないことであるが、事あるごとにこの授業で得た内容を今後につなげ、自律心のある本校の中学生として成長し、欲しいと思う。

### キャリア教育(進路学習)

時 6月10日  
於 4番教室・北陵ホール

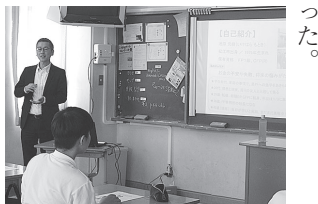
講師・しまね国際センター  
岩田和美 様

演題・社会貢献につながる働き方を考える  
岩田和美 様

講師・島根県金融広報委員会  
池原元樹 様

演題・暮らしとお金のキャリア  
池原元樹 様

2年生は社会で働くことへのイメージを膨らませ、自分の将来や社会について考えるよい機会になった。3年生は暮らしとお金について学習した。将来、暮らしに役立つ内容を教えていただいた。両講演ともキャリアを考える上で非常に有意義な研修となった。



## 作品と研究

### 県総体を終えて

#### 男子ソフトテニス部

伊藤 快(3・4年)

僕は浜山公園テニスコートで行われた県総体に出場しました。結果は、団体、個人共にインターハイへの出場権を獲得することはできませんでした。

個人戦では、1年生の勢い、2年生の冷静さ、3年生の安定力で5ペアが中国大会への出場権を獲得することができました。楽な試合は1試合もありませんでした。勝ち切る事ができたのは、日常生活を大切にしながら練習してきた、日常生活を大課題、改善点がたくさんあったと思うので、中国大会に向けて今まで以上に精進し、技術向上に励んでいきたいと思います。

団体戦ではチーム一丸となって戦い、準決勝まで順当に勝ち上がりました。準決勝は第1シードの松江工業高校が相手でしたが、強豪校相手に思いっきり向かっていきまし。序盤から攻めの姿勢を貫きました。相手の技術に圧倒され、第1対戦は0対4の敗戦となりました。第2対戦は北陵のエースペアが流れに乗り、4対2と勝利し、勝負の行方は僕達第3対戦へ託されました。ゲームはフライングゲームまでもしれ込み、相手のマッチポイントを何度もしのぎ、北陵がマッチポイントを握った場面もありました。しかし、「あと一歩」が届かず第3位という結果に終わってしまいました。僕の5年間のテニス人生の中で一番悔しい試合となりました。

僕達が毎日活動できているのは、多くの方々の支えのお蔭であると思っています。そして色々と未熟だった僕を見捨てずに、こんなにも人として成長させてくださった顧問の先生には感謝しかありません。また、困った時には優しく声をかけてくれたチームメイトの皆、本当に有難う。来年はこの悔しさを忘れずに、良い結果報告ができるように、また一から練習に励んで欲しいと思います。たくさんの方の応援をいただき、本当に有難うございました。

#### サッカー部

江角 竜斗(3・3年)

私達サッカー部は県総体に出場しました。目標はベスト8以上でしたが、初戦の相手出雲工業高校に0対5で敗れ、悔しい結果で終わってしまいました。ベスト8以上まで勝ち進むにはまだまだ力が及ばないことを痛感しました。

現在私達は人数がギリギリの状態です。一人でも休みがあると、できるメニューが限られ、思うようにならないこともあります。しかし、少ない人数ながらもこそ全員を一つにしやすいし、一つになった時には目標達成が見えてくると思います。チーム一丸となって、これからの練習に前向きに取り組む、選手権ではベスト8以上進出を果たしたいです。

最後に、私は選手権まで続けましたが、総体で引退してしまうチームメイトもいます。できるだけ長く一緒にサッカーをしたかったですが、叶いませんでした。この悔しい気持ちを忘れずに最後の最後までサッカーを全力で楽しもうと思います。応援有難うございました。

#### 男子バスケットボール部

池田 優我(3・4年)

僕は2回戦から出場し、初戦は隠岐高校と対戦しました。試合の内容は良いとは言えないものでしたが、全員出場し、勝利することができました。準々決勝では、松江高専と対戦し、序盤はチームが噛み合わず苦戦をしました。しかしそこから、試合に出ている人、出ていない人関係なく声を掛け合い、チームとしてまとまり、前半は18点リードで終えることができました。後半は、終始ペースを奪い、30点差で勝利し、ベスト4に進出しました。準決勝では、松江西高校と対戦し、相手の攻撃的な守備、早い攻撃に苦戦を強いられました。前半は相手のペースでゲームは進み20点ビハインドで終えました。後半は、前半の課題を克服することができ、自分達のペースになりました。全員が力を出し切り、2点差まで猛追しましたが、そこで失速し、8点差で敗

れました。3位決定戦の松江工業との試合も、自分達の課題の試合の入りで苦戦しました。しかし、試合が進むにつれて自分達らしさを出すことができ、18点差で勝利し、3位という結果になりました。

インターハイ出場はなりませんでしたが、チームとして成長できた大会になったと思います。自分を含め選手権に残る3年生もいます。選手権では優勝できるようにひたむきに精進していきたいと思っています。

#### 女子バスケットボール部

土江 華奈(3・6年)

私達は、県総体に出場し、ベスト8という悔しい結果で終わりました。

しかし、3年生を中心に、どの試合も自分達らしいプレーで最後まで戦えました。特に、2回戦の明誠との試合では、チーム全員が笛が鳴るまで全力でプレーし、勝っている場面でも誰一人として気を抜かず、プレーし続けることができました。

県総体を終えて、改めて周りの人の大切さを実感しました。最後まで信じて私達に正面から向き合ってくれた篠原先生をはじめ、どのチームよりも盛り上げてくれた1・2年生や保護者の方々。そして何よりも、最後まで一緒に戦った3年生のみんな。誰一人として欠けてはならぬ最高のチームでした。今大会で私は引退です。12年間続けてきたバスケットボールが、正直悔しい気持ちもあります。ですが、この3年間きついことや辛いことの何倍も楽しいことがあり、私にとってかけがえのない財産になりました。高校生活の大半をバスケット部で過ごし、たくさんの方を学び、心も成長しました。結果は残念せませんが、胸を張って、出雲北陵高校に入っています。メンバに出会えて良かったと言えます。

また、みなさんの応援が私達の原動力となりました。今までたくさんの方の応援を有難うございました。

#### 陸上競技部

河原 栄太(3・6年)

陸上競技部は浜山公園陸上競技場で行わ

れた県総体に出場しました。3年生が中心となり、大会に向けて勇往邁進をモットーに互いに切磋琢磨し練習に励みました。

春に1年生8名を迎え、2年生のいない、1年生と3年生のみの新体制となりました。1年生は初めての大会でしたが、生徒役員として選手をフォローしてくれたお蔭で、競技に専念して、集中することができました。

3年生は今大会に出場するまでには多くの段階があり、家族や学校の先生、後輩を含めたくさんの方に支えられていることを改めて実感した大会であったと思います。陸上は個人種目ではありませんが、全員が一人で行くのではなく、多くの人の思いを背負って、皆で走ることができたのではないかと感じています。一人でも多くの中国大会出場を目指して県総体に臨み、3人が中国大会出場権を得ました。コンディションが万全ではなかった選手もいましたが、全員が出場し、最後まで走り切ることができ、悔しい大会となりました。

また、中国大会では県総体の記録を越えられるよう、残りの日々を精一杯練習に努めたいと思います。3年生としてはこれが最後の大会になるため、お世話になった先生や、保護者の方々の応援に応え、次に続く後輩のために良い結果が残せるよう精一杯頑張りたいと思います。

令和6年度春季写真コンクール特選作品  
今月1枚「明日へ」

馬庭 葵琳(2・4年)

